

「第8回 秋田県北地域の今後の
地域展開に関する意見交換会」を開催します。
～日沿道・大館能代空港ICまでの開通効果や今後の利活用方策について議論～

少子高齢化が進展する中で秋田県北地域が発展していくためには、これまで以上に地域戦略の構築と地域の連携強化が必要との認識を基に、大館能代空港ICまでの開通効果や今後の利活用方策について下記のとおり第8回意見交換会を開催します。

記

1. 日 時:平成31年2月15日(金) 10時00分～
2. 場 所:能代河川国道事務所 2階会議室
3. 出席者:能代市長
北秋田市長
大館市長
秋田県 山本地域振興局長
秋田県 北秋田地域振興局長
秋田経済同友会 顧問
能代商工会議所 会頭
大館商工会議所 専務理事
大館青年会議所 理事長
能代青年会議所 副理事長
国土交通省 能代河川国道事務所長

秋田県政記者会、能代市記者クラブ、北秋田市記者クラブ、大館市記者クラブ

問い合わせ先
秋田県北地域の今後の地域展開に関する意見交換会
(事務局)
東北地方整備局 能代河川国道事務所
道路副所長 木村 恭一
TEL:0185-70-1001(内線:205)

1. 秋田県北地域の今後の地域展開に関する意見交換会のこれまでの経緯

秋田経済同友会の呼びかけ

「秋田経済同友会主催 地域連携シンポジウム」(H27.2.18)

○シンポ決議

- ・県内産業は、各分野で高度化の努力が続けられ、地域発展に寄与してきた。しかし、秋田県の少子高齢化進展に対応するためには、これまで以上に地域戦略の構築と地域の連携強化が必要である。
- ・このためには日沿道の開通が重要な要素。未着手区間への早期着手と早期完成を求める。

○参加者

大館市長、能代市長、北秋田市長(代理)、北秋田振興局長、山本振興局長、秋田経済同友会、大館商工会議所会頭、能代商工会議所会頭 等

(日沿道整備の進展)

平成27年度新規事業化(能代地区線形改良)により、現道活用区間も含め日沿道の全IC間で整備が始まる

意見交換会の始まり

地域戦略の構築を議論する適期と捉え、先の地域連携シンポジウムの参加メンバーを中心に、日沿道の開通を見据え県北地域が連携した地域展開方策について平成27年5月より議論を始める。

- 進め方
- ステップ1:「これまでの日沿道開通でどのような効果があったか」について整理・分析
 - ステップ2:この分析結果と今後の開通を見据えて県北地域での連携した地域展開方策(産業面、観光振興面など)について意見交換

H27年度

ステップ1

平成27年5月22日

第1回意見交換会:「これまでの日沿道開通による効果」について意見交換

平成27年7月1日

第2回意見交換会:「これまでの日沿道開通による効果」の整理・分析

⇒「これまでの日沿道開通による効果」とりまとめ・公表

平成27年10月1日

第3回意見交換会: 県北地域での連携した取り組みについて意見交換・取り組みの提案や進め方について議論

ステップ2

平成28年2月18日

第4回意見交換会: 県北地域での連携した取り組みについて意見交換
・これまでの意見交換で出された連携取組提案の具体化検討の状況報告
・その他、日沿道整備進展を活かした新しい取り組みの状況報告

H28年度

平成28年8月29日 平成29年2月13日

第5～6回意見交換会: 県北地域での連携した取り組みについて意見交換
・これまでの意見交換会で出された連携取組の状況報告、日沿道の整備進展を活かした新たな取り組みの紹介
・産業面での連携した取り組み実施に向けた意見交換
・鷹巣大館道路の開通効果、これまでの開通による経済効果について
・今後の開通を見据えた整備効果の広報展開について

H29年度

平成30年2月19日

第7回意見交換会フォーラム: 県北地域での連携した取り組みについて意見交換
・平成30年3月21日に開通した鷹巣大館道路(大館能代空港IC～鷹巣IC)を中心に秋田県北地域の高規格道路ネットワークの利活用について、未来を担う子供たちの意見を交え、経済界と代表市長が議論を行うパネルディスカッション形式のフォーラムを開催。

H30年度

平成31年2月15日

第8回意見交換会: 県北地域での連携した取り組みについて意見交換
・日沿道が大館能代空港に直結したことによる整備効果や利活用について